

2023年5月17日  
セントラル野球連盟  
パシフィック野球連盟  
スカパーJSAT株式会社

### 3、4月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の3、4月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

#### ～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

秋山 翔吾 (広島東洋カープ)  
2 度目

秋山選手は、4月15日(土)マツダスタジアムで行われた対東京ヤクルトスワローズ5回戦、3対4と1点ビハインドで迎えた9回裏、二死一塁の場面で、左翼席へ逆転サヨナラ2点本塁打を放った。

小雨が降る中で迎えた、首位東京ヤクルトとの一戦は、1対2で迎えた4回裏に、西川選手が今シーズン第1号となる同点ソロ本塁打を打ち、試合を振り出しに戻した。しかし、6回表に東京ヤクルト・長岡選手の適時打などで、2対4と勝ち越しを許した。7回裏の広島東洋の攻撃では、先頭の田中選手が二塁打で出塁すると、一死三塁から菊池選手の適時打で1点差に迫る。

そして、3対4で迎えた9回裏のマウンドに上がったのは、東京ヤクルト新守護神の田口投手。簡単に二死まで追いつめられるも、代打の堂林選手が四球で出塁。打席に入った秋山選手は直後の初球を振り抜くと、打球は左翼席へ飛び込む逆転サヨナラ2点本塁打となった。雨の中の激戦を制した広島東洋は、2位に浮上した。

秋山選手のサヨナラ本塁打は、2012年9月5日対福岡ソフトバンク20回戦で放ったサヨナラソロ本塁打以来の自身2度目で、スカパー！サヨナラ賞受賞は、昨年8月度以来2度目となる。

#### ～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

清宮 幸太郎 (北海道日本ハムファイターズ)  
初受賞

清宮選手は、4月1日(土)エスコンフィールドで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス2回戦、3対3の同点で迎えた延長10回裏、無死二塁の場面で、右前にサヨナラ適時打を放った。

北海道日本ハムは、1点を追う6回に4番・野村選手の適時打で同点に追いつくと、7回には代打・今川選手、5番・清宮選手の適時打で2点の勝ち越しに成功する。しかし、8回表に東北楽天・辰己選手の2点本塁打で同点とされ、試合はそのまま延長戦に突入した。

3対3の同点で迎えた延長10回裏、マウンドには東北楽天7番手の宮森投手。先頭の野村選手が右中間への二塁打を放つと、二塁ランナーに代走の福田光選手を送る。無死二塁と一打サヨナラの舞台が整い、打席に清宮選手を迎える。カウント1-0からの2球目、緩い変化球を鮮やかに右前にはじき返すと、二塁ランナーは一気にホームに生還。4時間22分の手汗握る熱戦は劇的な幕切れとなり、満員のスタンドは大歓声に包まれた。

開幕2戦目での今季初勝利は、「エスコンフィールドHOKKAIDO」での記念すべき本拠地初勝利となり、劇的なサヨナラ打を放った清宮選手は球団の歴史に新たな名を刻むこととなった。スカパー！サヨナラ賞は初受賞となる。



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (横浜DeNA)	田中 賢介 (北海道日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (北海道日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋)	柘田 慎太郎 (東北楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (東北楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (千葉ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (東京ヤクルト)	B.レアード (北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルト)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋)	嶋 基宏 (東北楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
9月度	石原 慶幸 (広島東洋)	片岡 治大 (埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	B.レアード (北海道日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (横浜DeNA)	B.レアード (北海道日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (埼玉西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島東洋)	A.ジョーンズ (東北楽天)
5月度	梵 英心 (広島東洋)	加藤 翔平 (千葉ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (横浜DeNA)	今宮 健太 (福岡ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (埼玉西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (千葉ロッテ)
9月度	T. ブランコ (横浜DeNA)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鵜久森 淳志 (東京ヤクルト)	聖澤 諒 (東北楽天)
5月度	荒木 貴裕 (東京ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (福岡ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (東京ヤクルト)	J. アマダー (東北楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島東洋)	A.デスパイネ (福岡ソフトバンク)

(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
5月度	山下 幸輝 (横浜DeNA)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
6月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	上林 誠知 (福岡ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島東洋)	山下 斐紹 (東北楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	Y.グラシアル (福岡ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (東京ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (東京ヤクルト)	中田 翔 (北海道日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (東北楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
9月度	N. ソト (横浜DeNA)	E. メヒア (埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島東洋)	山川 穂高 (埼玉西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (東北楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	亀井 善行 (巨人)	岡 大海 (千葉ロッテ)
5月度	岡本 和真 (巨人)	該当試合無し
6月度	大和 (横浜DeNA)	T-岡田 (オリックス)
7、8月度	大山 悠輔 (阪神)	高濱 祐仁 (北海道日本ハム)
9月度	坂倉 将吾 (広島東洋)	B. レアード (千葉ロッテ)
10、11月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	岡 大海 (千葉ロッテ)

2022年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	西川 龍馬 (広島東洋)	浅村 栄斗 (東北楽天)
5月度	山崎 晃大朗 (東京ヤクルト)	栗山 巧 (埼玉西武)
6月度	宇草 孔基 (広島東洋)	島内 宏明 (東北楽天)
7月度	R. マクブルーム (広島東洋)	高部 瑛斗 (千葉ロッテ)
8月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	近藤 健介 (北海道日本ハム)
9、10月度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)

2023年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	清宮 幸太郎 (北海道日本ハム)
5月度		
6月度		
7月度		
8月度		
9、10月度		



## (参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (北海道日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2015年度	雄平 (東京ヤクルト)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島東洋)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
2018年度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
2020年度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)
2021年度	坂倉 将吾 (広島東洋)	岡 大海 (千葉ロッテ)
2022年度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)